

1年弱で1万食突破

地方産品のPRにも活用

KOMPEITO



SALAD STANDでは容器入りのサラダのほか、コールドプレスジュース、豆乳プリンなども販売する

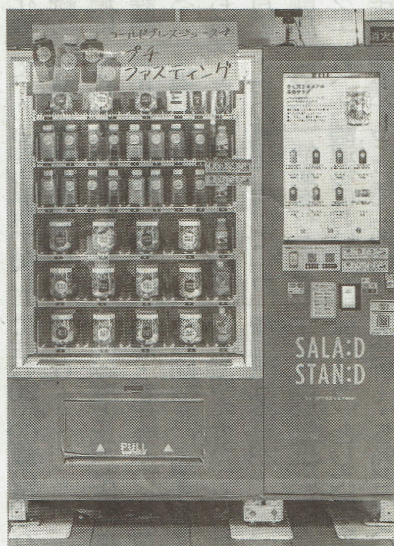
「置くだけ健康社会」MP EITO（渡邊瞬社）サービスを展開するK O 長、東京都品川区）は昨

年1月、京王井の頭線「渋谷駅」にサラダの自動販売機「SALAD STAND」を設置した。販売数は、設置から1年弱ですでに1万食を突破している。

サラダは、9種類のラインアップから週替わりで5種類を販売。「スモーク合鴨とアーモンドの美サラダ ホワイイトドレッシング」などと、野菜に加え、果物、肉や魚、ナッツを使用。1食約2

50gあり、メインの食事にもなるよう栄養バランスとポリウムに配慮する。原料野菜については、主原料のレタスなどは基本的に千葉県香取市にある提携農園が栽培期間無農薬で育て、収穫して間もない新鮮な状態でサラダの加工まで行う。標準価格は1食880円（税込み）。

このほか、コールドプレスジュースやグルテンフリーのスイーツなども販売。購入の際には、同社が運営するアプリ「YASAI PAY」や交通系ICなどによる電子決済を行う。



自販機にはAIカメラを搭載。人流や販売動向により自動で最適価格を設定し、フードロスの削減につなげる。利用者は女性比率が圧倒的に高く、リピーターが多い。購入時間は、夕方以降がとくに多いという。

一方、SALAD STANDは「特産品のPR」の役割も担う。同社では各地の自治体やJA全農、JAと連携し、SALAD STANDや、オフィスに設置した約8000台の社食販売用の冷蔵庫を活用する。

京王井の頭線「渋谷駅」に設置した自販機。AIカメラを搭載

このうち、ナシではJA全農とつとりと連携し、「二十世紀」「新甘泉」のカットをパックしたものを用意。1日500人ずつ、2日間で1000人に提供した。サンブルを得るにはYASAI PAYをダウンロードしたうえで、専用QRコードを読み取ることが必要。これにより、サンブルを受取った人の属性

の把握や、その後の購入意向についてアンケートをすることが可能となる。

同社では、「気に入ってもらえたら小売店、ECサイトでの購入やふるさと納税の寄付にもつながる」とし、「自販機は人流の多い場所に設置されているため幅広い層への広告効果がある」と期待する。

現在、SALAD STANDは渋谷駅のほか、企業の休憩スペースでも稼働。今後は積極的に展開し、2028年に6000台の設置をめざす。